

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 清流の国ぎふ 防災・減災センター運営事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 地域支援係 電話番号：058-272-1111(内2841)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 21,000 千円 (前年度予算額：21,500 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	21,500	0	0	0	0	0	0	0	21,500
要求額	21,000	0	0	0	0	0	0	0	21,000
決定額	21,000	0	0	0	0	0	0	0	21,000

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

実際に災害対応を行う岐阜県と、高度教育機能・研究機能を持つ岐阜大学が共同して、平成27年4月に「清流の国ぎふ 防災・減災センター」を設置した。

当センターは、人材育成や市町村・企業への技術支援に加えて、減災社会実現に向けた調査研究など、防災・減災にかかる実践的シンクタンク機能を担っている。また、様々な啓発活動、人材育成プログラムの主催や講師派遣を通じて、地域防災力の強化を推進している。

(2) 事業内容

清流の国ぎふ 防災・減災センターにおいて、防災人材の育成・連携、普及啓発、技術支援及び調査研究に取り組むことで、県全体の地域防災力向上を支援する。また、国や他の研究機関等とも連携し、地域の防災・減災対策の強化を目指す。

①防災人材の育成

○清流の国ぎふ防災リーダー育成講座(年2回)

防災・減災に関する専門的知識を修得し、地域の防災リーダーとして活躍できる人材を育成する。

○げんさい未来塾(通年)

地域防災・減災について主体的に担うことのできる人材を、実際の地域防災・減災の現場における実践を通じて育成する。

○げんさい楽座(隔月開催)

専門家と一般参加者が防災・減災について語り合い、防災・減災への関心を深め、知識を得る交流の場。 など

②普及啓発 防災活動大賞、シンポジウム開催 など

③技術支援 自治体及び企業向け知的支援の実施、学校からの相談対応 など

(3) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	21,000	運営事業費
合計	21,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 岐阜県地域防災計画
第4節 自主防災組織の育成と強化
- 第3期岐阜県強靱化計画
第5章-3-(10) リスクコミュニケーション／防災教育・人材育成～自助・共助の底上げ～
(防災人材の育成・活躍促進)
- 「清流の国ぎふ 防災・減災センター」や市町村において地域で活躍できる防災人材の育成を推進するとともに、育成した人材が地域防災力の要となるよう、自主防災組織等と連携を深める機会の創出を促進するなど、防災人材がそれぞれの地域で活躍できる体制の構築を強化・推進する。
- 創生総合戦略
II-2-(2)-⑥災害と危機事案に強い岐阜県づくり
地域防災リーダーなどの防災人材の育成・確保
「清流の国ぎふ 防災・減災センター」で地域防災リーダーを育成するとともに、県民の防災意識の向上を図る取組を推進

(2) 国・他県の状況

三重県防災・減災センター（三重県と三重大学が共同設置）

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

南海トラフ地震といった「超」大規模災害の発生に備えるため、防災人材育成、普及啓発、事業支援等をとおして、県民・市町村・企業・県の防災力を底上げし、地域防災力の向上につなげる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
① 防災リーダー育成講座受講者	0人	1,600人	1,800人	1,900人	2,000人	80%
② げんさい未来塾卒塾生が参画する自治体等の防災・減災施策数	0施策	17施策	10施策	10施策	10施策	170%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	○人材育成 清流の国ぎふ 防災リーダー育成講座（2回） 176名参加 げんさい未来塾 5名参加 避難所運営指導者養成講座 10名参加 災害・避難カード指導者養成講座 74名参加 など
	指標① 目標：1,200 実績：1,247 達成率：103%
令和5年度	○人材育成 清流の国ぎふ 防災リーダー育成講座（2回） 183名参加 げんさい未来塾 7名参加 避難所運営指導者養成講座 90名参加 災害・避難カード指導者養成講座 48名参加 など
	指標① 目標：1,400 実績：1,430 達成率：102%
令和6年度	○人材育成 清流の国ぎふ 防災リーダー育成講座（2回） 170名参加 げんさい未来塾 6名参加 など ※「げんさい未来塾」の取組みが評価され、令和6年4月23日に「グランプリ・レジリエンスジャパン推進協議会会長賞」を県内団体として初めて受賞
	指標① 目標：1,600 実績：1,613 達成率：101%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>令和6年1月に能登半島地震が発生したことに加え、同年8月には南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)がはじめて発令されるなど、大規模災害の発生危険性が高まっており、地域での防災人材の育成の強化が必要となっている。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>地域の高等教育機関であり、防災等の研究者・専門家も在籍する岐阜大学と共同で防災人材育成プログラムや事業支援プログラム等を検討し、実施することで、本県の災害対応力の強化が図られている。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>毎月、県と大学による会議を開催し、意思疎通を図り、円滑に事業を実施している。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 市町村と連携し、住民の防災意識向上に向けた取組みを推進するとともに、防災人材の活躍やネットワークづくりを継続的に支援していく必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 毎年のように豪雨災害が発生する中、実効性のある避難対策を速やかに確立するためには、岐阜大学教員の専門的知見が不可欠であり、引き続き、清流の国ぎふ 防災・減災センターにおいて、地域防災力向上に向けた取組みを実施していく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	